

【路線バス】ドライバー異常時対応システム（EDSS）搭載 新型路線バス

京阪バスでは、2019年12月に「ドライバー異常時対応システム（EDSS）」を装備した新型ノンステップバスを導入しました。



写真は2019年12月に京田辺営業所へ3両配属された内の2両。

2020年3月末までに京阪バスで18両が配属予定です。

※運行スケジュールに関するお問い合わせはご遠慮下さい。

ごあんない
このバスには**非常ブレーキ**が**搭載**されています。
This bus is equipped with the emergency brake.

1 運転者が急病等で運転できなくなった場合、
※警報から、椅子にしっかり腰かけ、tesiり・つり革にしっかりおつかまりください。

2 非常ブレーキのカバーを開けスイッチを押してください。
※運転者自らが体調の真変等により非常ブレーキを操作し緊急停止させることがあります。

3 警報が鳴りますので、緊急停止に備えてください。
※緊急停止 おつかまりください Hold Handrail

4 警報が鳴り始めてから約3秒後、緊急停止します。
※緊急停止 おつかまりください Hold Handrail

バス前方
運転者席
出入口

非常ブレーキスイッチはバス前方 運転者席後ろ付近に設置されています。

おねがい 運転者の異常時以外の非常ブレーキスイッチの操作は、法令により禁止されています。
Except in cases when the driver cannot function normally, operating the emergency brake switch is a violation of the law.
運転者が急病等により運転の継続が困難な場合以外、非常ブレーキスイッチを**絶対**に押さないでください。
Never push the switch unless the driver cannot continue operating the bus due to sudden illness or other reason.

国土交通省 公益社団法人日本バス協会

ご理解とご協力をお願いいたします。



今後導入するバス（一部車両を除く）に EDSS を搭載する予定です。
さらに高いレベルの安全性を求め、取り組みを進めていきます。

【ドライバー異常時対応システム（EDSS：Emergency Driving Stop System）】とは？

走行中、運転手が急病等で運転できなくなった場合、
お客様や運転手自身が『非常ブレーキスイッチ』を押すことで、車両が制動を開始し、
段階的に速度を落とし停車します。

このスイッチが押されると、車内では音声アナウンスが流れ、また赤色警報ランプの
点滅により緊急事態であることをお客様に伝えます。車外へもクラクションを鳴らし、
ハザードランプとブレーキランプを点滅させることで緊急事態であることを伝えます。

- ◆ 国土交通省が策定した「ドライバー異常時対応システム」技術指針に準拠した安全装備のひとつです。
- ◆ 運転手が急病等で運転できなくなった場合は、『非常ブレーキスイッチ』を押して下さい。
なお、それ以外の場合に『非常ブレーキスイッチ』を押すことは、
法令により禁止されています。
- ◆ お客様用の『非常ブレーキスイッチ』は、運転席のすぐ後ろ付近に設置されています。
- ◆ 非常ブレーキでバスが停車後、運転席（ハンドル左下）のレバーを下に引いて、
駐車ブレーキを掛けて下さい。

非常ブレーキスイッチ のお知らせ

運転席の直ぐ後ろに
設置されています。



運転手が急病などの場合

スイッチを押すと
バスが緊急停止します

緊急時以外は
押さないで下さい



非常ブレーキが作動したら

赤いランプが点滅し
音声アナウンスで警報

手すり・つり革に
おつかまりください。



緊急停止後

駐車ブレーキを
下げてください

ハンドルの左下に
設置されています。



ご理解・ご協力をお願い

警察¹¹⁰・ 消防¹¹⁹へ
通報してください

むやみに車外へ出るのは
お控えください。



お願い

緊急時以外は
押さないでください

法令により禁止
されています。

